



描き起こし図「阿修羅像」「華原啓」2024年

切り絵作家 望月めぐみ展

— 切り絵による中金堂荘嚴 —

11/22(金)～24(日) 興福寺 中金堂、南円堂休憩所



千鱗飛龍 Flying Dragon with a Thousand Scales
15m×45cm 2024

切り絵作家 望月めぐみ展 MEGUMI MOCHIZUKI PAPER CUTTING EXHIBITION

22 Fri.~24 Sun. November 2024 KOHFUKUJI

平安時代に成立した「興福寺流記」によれば、建立の際に「龍興雲従」の記述があり、猿沢池の龍神伝承など、龍にまつわる縁起のある興福寺。辰年の本年、龍穴の地に建つ中金堂を15メートルの「千鱗飛龍」など龍を題材にした大型切り絵作品で荘厳します。

南円堂休憩所では、寺宝に関する新作を発表します。実物大の阿修羅像の切り絵を大判和紙を用いて制作、タペストリー状にして展示し、国宝阿修羅像の大きさを間近で感じていただけます。また、作家が長年惹かれ続けてきた「華原磬」を立体切り絵で表現。四頭の龍が絡み合う複雑で精緻な造形を、手漉き和紙を刻み組み上げることで再現します。

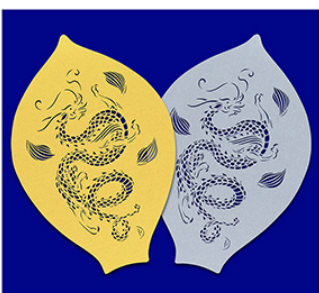


望月めぐみ/切り絵作家

京都市在住。東京学芸大学在籍中の2002年より、切り絵作家として活動開始。一枚の紙を刻んで生まれる切り絵特有の緊張感のある透過美を活かし、寺院や茶室などの伝統建築における大型のインスタレーション作品を多く手掛ける。主なテーマは東アジアの神話や古代思想。近年の活動に、国営飛鳥歴史公園キトラ古墳「四神の館」や富士川・切り絵の森美術における個展、スペインでの展示がある。立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所客員研究員、京都伝統工芸大学校和紙工芸専攻非常勤講師、スイス切り絵協会会員。

↓ Megumi Mochizuki website (JP/EN) <https://www.mochime.com>

- 作家による切り絵の制作実演開催 (南円堂前休憩所、会期中随時)
- Papercutting Demonstration (Lounge of Southern Round Hall)



■寄付つき「切り絵散華」

売り上げの一部を興福寺五重塔修理費として寄付します。

一枚 1,000円

デザイン・望月めぐみ

※画像はイメージです。

- 中金堂 (拝観500円)
金・土 9:00~20:00、日 9:00~19:00
- 南円堂休憩所 (無料) 10:00~16:30

- Central Golden Hall (500YEN)
Fri.Sat. 9:00~20:00 Sun. 9:00~19:00
- Lounge of Southern Round Hall(Free) 10:00~16:30